1 課題1

1.1

以下の命令を実行し,実行結果について説明せよ.

• ones(4, 3)

--> ones(4, 3) ans =

- 1. 1. 1.
- 1. 1. 1.
- 1. 1. 1.
- 1. 1. 1.

すべての要素が1の4行3列の行列を作成する。

• eye(5, 3)

--> eye(5, 3)

ans =

- 1. 0. 0.
- 0. 1. 0.
- 0. 0. 1.
- 0. 0. 0.
- 0. 0. 0.

対角要素が1の5行3列の行列を作成する。

• zeros(3, 4)

--> zeros(3,4)

ans =

- 0. 0. 0. 0.
- 0. 0. 0. 0.
- 0. 0. 0. 0.

すべての要素が0の3行4列の行列を作成する。

• linspace(-1, 1, 10)

--> linspace(-1,1,10) ans =

column 1 to 3

-1. -0.7777778 -0.5555556

column 4 to 5

-0.3333333 -0.1111111

column 6 to 7

0.1111111 0.3333333

column 8 to 10

0.5555556 0.7777778 1.

-1 から 1 へ向かう等間隔に並んだ 10 個の点を含んだ一次元配列を作成する。

1.2

v = [1; -2]; w = [1 2]; A = [1 2; 3 4]; を実行し、以下の問いに答えよ.

$1.2.1 \quad 1-2-1$

size 関数について以下の命令を実行し、実行結果を比較せよ.

• size(v)

--> size(v)
ans =

2. 1.

2行1列であることを示している。

• size(w)

--> size(w)
ans =

1. 2.

1行2列であることを示している。

• size(A)

--> size(A)
ans =

2. 2.

2行2列であることを示している。

1.2.2 1-2-2

max 関数について以下の命令を実行し、実行結果を比較せよ.

• max(A)

--> max(A)
ans =

4.

A のすべての要素に対して最大の要素を返している。

• $\max(A, c')$

2.

4.

A の各行に対して最大の要素を返している。

• $\max(A, r')$

3. 4.

A の各列に対して最大の要素を返している。

1.2.3 1-2-3

sum 関数について以下の命令を実行し,実行結果を比較せよ.

• sum(A)

10.

A のすべての要素を加算した値を返している。

• sum(A, 1)

4. 6.

A の各行に対して加算した値を返している。

• sum(A, 2)

--> sum(A, 2)
ans =

3.

7.

Aの各列に対して加算した値を返している。

1.2.4 1-2-4

以下の命令を実行し,実行結果について説明せよ.

• norm(v)

--> norm(v)
ans =

2.236068

そのベクトルのノルムを返している。

• gsort(v)

--> gsort(v)

ans =

1.

-2.

要素に対してソートを行って、大きい値順に返している。

• abs(v)

1.

2.

絶対値を取った値を返している。

• inv(A)

ans =

逆行列を返している。

2 課題2

2.1

A と v を変数 A と v へ代入せよ.

$$-->$$
 A = [4, -2, 0; -1, 4, -2; 0, -1, 4]
A =

4. -2. 0.

-1. 4. -2.

0. -1. 4.

 \rightarrow v = [3; 0; 1.5]

v =

3.

0.

1.5

2.2

Av の計算結果を示せ.

--> A * v ans =

12.

-6.

6.

2.3

ベクトル v の 2 ノルム $||v||_2$ を求めよ. Scilab の norm 関数を用いてもよい.

-> norm(v)
ans =

3.354102

2.4

線形方程式 Ax = v の解 x を求めよ.

--> A \ v

ans =

1.

0.5

0.5

3 課題3

公式の左辺と右辺を計算せよ.

• 値を代入する。

--> A = [1, -1, 0; -1, 2, -1; 0, -1, 2],
$$x = [1;2;3]$$
, $y = [-2; 2; 1]$ A =

- 1. -1. 0.
- -1. 2. -1.
- 0. -1. 2.

x =

- 1.
- 2.
- 3.

у =

- -2.
- 2.
- 1.

• 左辺を計算する。

ans =

- 5. 0. **-1**.
- 3.8 0.2 -0.8
- 2.2 -0.2 -0.2

• 右辺の計算する。

- 5. 0. **-1**.
- 3.8 0.2 -0.8
- 2.2 -0.2 -0.2

4 課題4

4.1

gsort 関数と abs 関数を用いて、1 次元配列の絶対値最小の要素と絶対値が 2 番目に小さい要素を返す関数を作成せよ. ただし、返す値は絶対値ではなく、もとの要素の値とすること。

```
function [val1, val2] = myfunc(vec)
[vals, idxs] = gsort(abs(vec))
idxs = flipdim(idxs, 2)
val1 = vec(idxs(1))
val2 = vec(idxs(2))
endfunction
```

4.2

```
--> [val1, val2] = myfunc(datas)
val2 =
-0.048493
val1 =
-0.0278533
```